



H290823

第5回準備会資料
ステップ3

「民都・大阪」フィランソロピー会議の検討
～アジアの民都(公益首都)をめざして～

会議における事業関係・メンバー選任等における主な論点について（ステップ3）

「民都・大阪」フィランソロピー会議に関する主な論点等

議論・決定の場

【事務局想定】

構成：会議メンバー（法人格を超えた参画(組織・団体のトップ層)15区分を例示）+ 分科会リーダー

取組内容：

- ・フィランソロピー促進に向けた取組み全体に係る議論（分科会における検討により難しい課題の検討を含む）
- ・「民都大阪」フィランソロピー大会の開催、分科会の設置等の事項について決定
- ・法人格や営利・非営利の枠を超えた連携や協働の促進等
- ・フィランソロピー促進に向けた情報発信（ホームページなどにおける情報発信等）
- ・各分科会における検討状況・成果の共有、具体化

【まず整理いただきたい論点】

会議における議題、取組内容等

分科会設置や成果の具体化(各セクターの取組み)、大会の開催・内容、事業計画・予算、情報発信など

会議メンバーの考え方や、人数規模、開催頻度

各法人・団体等のトップ層本人による会議とするか、トップでなくても実務的な議論を重視するか

分科会リーダーが決まり次第、準備会に参画いただくか、それとも他の法人格からの参画を優先するか

人数は現準備会メンバーに他の法人格を加えた10名～15名程度を基本とするか

4半期に1回程度、準備会同様月1回程度、年1回程度とし幹事会を設置する など

【今後、整理が必要な論点】

会議の運営方法等（会議の決定事項、座長の設置、代理出席・書面による意見表明の可否、定足数、意思決定の方法（多数決・全会一致）、謝金や会場費等の費用負担、会議の公開・公表など）

会議メンバーの選任方法などに関するルール

（メンバーの位置づけや選任方法、任期、人数の上限、ジェンダー・世代間のバランスの考慮など）

会議立上げの手法について

準備会で設立趣意書を作成し、第1回フィランソロピー大会で採択するか

会議設立の発起人会を立ち上げるか、拡大した準備会から会議に移行するか など

会議における事業関係・メンバー選任等における主な論点について（ステップ3）

分科会・タスクフォースに関する主な論点等

課題・テーマの検討の場

【事務局想定】

構成：リーダー＋メンバー（メンバー選定も含め、リーダーの自主的な運営により自由・活発な議論が行われる会議）

取組内容：

- ・各検討テーマの課題解決に向けた新たな仕組みや手法、連携等について検討
- ・まずは「資金」「人材」「情報」の3つの分科会を設置。必要に応じて、分科会の下にタスクフォース（TF）を設置
- ・各分科会・TFにリーダーを置き、リーダーが自主的に運営（メンバー選定も含め）
- ・各リーダーは、「民都・大阪」フィランソロピー会議で分科会等の検討状況を報告

【まず整理いただきたい論点】

「分科会」の検討の進め方について

準備会でまず、「資金」「人材」「情報」それぞれの優先課題など具体的なテーマを決定するか、

（例：【資金】休眠預金の活用、【人材】大学との連携、【情報】HP・SNSの活用）

それともリーダー等の選任後、分科会の検討を開始し、その中で課題分析等により、掘り下げていくか

「民都・大阪」フィランソロピー会議と分科会等の関係について

各分科会は会議メンバーの担当制とするか（3分科会の担当は現準備会メンバーから選任）

（担当メンバーが、分科会のリーダー候補選定や分科会運営の進捗管理等を行う「世話人」のイメージ）

分科会リーダー・メンバー等の選任について

3分科会の担当メンバーがリーダー候補を選任し、準備会で承認してはどうか

（その後、担当メンバーとリーダーの協議等で、分科会のメンバーを選任）

【今後、整理が必要な論点】

分科会における議題、取組内容（何を議題とするか、どのようなアウトプットをめざすのか。）

分科会運営に関するルール（基本的にはリーダーの自主的な運営に委ねるが、会議同様一定の整理が必要では。

メンバーの位置づけや謝金等の取扱い、分科会の公開・公表など）

分科会設置等に関するルール

（新たな分科会設置は「民都・大阪」フィランソロピー会議において、担当メンバーと併せて決定することなど）

会議における事業関係・メンバー選任等における主な論点について（ステップ3）

「民都・大阪」フィランソロピー大会に関する主な論点等

イベント（情報発信の場）

【事務局想定】

構成：大会の開催趣旨（民都大阪フィランソロピー会議の設立趣旨）に賛同した法人・個人誰もが参加可能

取組内容：

- ・「民都大阪」フィランソロピー会議、分科会における取組み等の発表・意見交換、情報発信の場
- ・講演、パネルディスカッション、分科会における検討成果のプレゼンテーション、フィランソロピー促進に係る先進事例の紹介、大阪フィランソロピー都市宣言等を行う

【まず整理いただきたい論点】

第1回大会について

会議の立上げ等のキックオフイベントとするか、それとも分科会等の一定の**結果を発表する場**とするか
時期、規模をどうするか。（内容とスケジュールのどちらを重視するか。どの程度の規模で開催するか。）

会場代、講演料などの**費用負担**をどうするか

クラウドファンディングによるファンドレイズや、協賛金を募る場合の「**受け皿**」をどうするか

第1回に向けて、**準備会メンバーで担当を決める（別途議論の場を設ける）**のはどうか

大会への参加者について（「インクルーシブな集まり」の意味合い）

一定の参加制限を設けるか、それとも原則排除せず趣旨に賛同する法人・個人なら可能とするか
開催の度に賛同を呼びかけるか、それとも常時会員を置く必要性はあるか など

【今後、整理が必要な論点】

第2回以降の大会開催について（開催頻度は年1回程度で継続的に実施）

（開催時期、内容の検討、会場・広報等の運営など）

これまでの準備会の議論も踏まえ、今後、準備会で議論・決定していくべき事項を段階的に、ステップ1～ステップ6で整理

	検討事項（案）	メンバー参画関係
ステップ1	・会議設立趣旨・目的の整理（整理済み）	
ステップ2	【2 - 1】会議における検討テーマ 【2 - 2】会議構成（大阪フィランソロピー大会、大阪フィランソロピー促進会議、分科会）	
ステップ3	【3 - 1】会議における事業関係（事業計画、事務局機能、費用負担等） 【3 - 2】メンバー選任規程	～順次参画打診～
ステップ4	【4 - 1】民間組織による運営手法 【4 - 2】会議の議事運営規程	
ステップ5	【5 - 1】民間組織による運営の詳細検討 【5 - 2】設立趣意書・規約案	促進会議メンバー・分科会メンバー確定
ステップ6	・プレ促進会議の開催（設立趣意書・規約案の確認等）	

第4回準備会以降、順次、ステップ2から議論・検討を進める
ステップ4（民間組織による運営手法等）が整理された段階で、
大阪フィランソロピー大会の開催に向けた準備を開始（準備期間：3～4か月）